

# 世界糖尿病デー院内イベント を開催しました！



世界糖尿病デー院内イベントは当院の毎年恒例の行事になっています。今号では行われたイベントのもようをご報告します。

**講演会** 2013年11月13日 講師 稲澤 健志 医師



スライドで分かりやすく講演



質問に耳を傾ける稲澤医師

**ポスター展示** 2013年10月11日  
～11月15日



糖尿病サポートチームによる  
手作りのポスター

## 講演会参加者の声



### Aさん

参加できてよかったです。血糖コントロールが出来ている人と出来ていない人では、その後の経過が全然違うというグラフが印象に残っています。なかなか目標値以下にならないため悩んでいますが、定期的に先生のお話を聴くことで日々の血糖コントロールが大切だということが再認識できます。(HbA1cが)7.0%未満を目指していきたいと思います。

### Bさん

毎年参加しています。先生が言っていることは解っているけれど実行できないところが悩みです。先生のお話の中で、「入院したら治して帰りたい」という人がいると聞いて、私もそのように思いました。糖尿病は表に症状が現れない病気です。定期的に病院に通うことで、自分の状態を理解して上手に付き合っていくしかないと思います。

### Cさん

稲澤医師の糖尿病教室の講演会で、少しずつ糖尿病のことが分かってきました。糖尿病は身近な病気だということ、HbA1cや血糖値が大事だということが分かりました。

### 参加職員①

くまモンとふなっしーの登場は患者さんの気持ちを“ほっと”させてくれて良かったと思います。糖質を制限する事はバランスをまず考えてから行う事が大切という事を先生が言って下さって助かりました。(栄養相談の時によく質問される事なので)

### 参加職員②

今年は『HbA1cは 7.0%未満だモン』というテーマですが、HbA1cの質というところまでCGM(24時間持続血糖測定)事例をあげていただいたことで患者さんにも印象に残ったのではないかと思います。質の良い血糖コントロールを支援できるよう、外来での支援や療養教室で頑張りたいと思います。

次のページ(4、5ページ)に講演会で稲澤医師がお話しした内容をもとに、『糖尿病のおはなし』を掲載しています。そちらもご覧ください。

## ボランティア活動日誌

### 患者を支える会

2013年12月19日

クリスマス会2013。3曲目「きよしこの夜」の合唱の後、サンタさんがベッドサイドに届けたのは香りのプレゼントです。素敵なポスターを見て、楽しみに待ってくださったというライアー(竖琴)コンサートには患者さん、ご家族、ご近所の方が詰めかけました。ライアーの調べは人々の緊張した気持ちを解きほぐし、内なる自分に触れる力があるようです。患者さんの目には涙が光っておりました。

